

ロンバルディ・ベネチア～オーストリア
国王が兼務統治していた王国～〔斎藤 環〕…… 2

カラー連載

思い出のマテリアル⑥

スタンレー・ギボンズ社で購入した全5巻

伊藤 淳さん(神奈川県) ……………	1
封書10円時期の「記念・特殊切手」の楽しみ! ⑥〔横山 裕三〕	
「切手趣味週間『序の舞』」……………	8
カラー版 魚木式郵趣⑥〔魚木 五夫〕	
鑑賞中心の原則……………	10
押さえておきたい「日本切手の壺」④〔山口 充〕	
大正婚儀記念切手の初日印……………	16

STAMP-SHOW2025 関連

郵趣MYコレクション展2025 注目の作品 …… 12

ワールドトピック

ソウルの郵便事情〔友田 淳治〕…………… 22

連載

著名人の手紙 160〔新垣 千尋〕

日本画家 土田麦僊…………… 31

郵趣家の書斎 ～さまざまな切手収集の楽しみを訪ねて ⑧〔佐伯 幸一〕

林 俊治さん～医学教育で切手を活用～…………… 32

切手女子流「切手の楽しみ方」②〔ばば ちえ〕

『切手デザイナーの仕事』の著者

間部香代さんに聞く切手の愉しみ…………… 34

JPS研究会発信! ここに注目! 収集のポイント②

収集品は眠らせず、切手展へ出品を

〔江村 清/絵画切手研究会〕…………… 36

軍事郵便収集の魅力⑩〔玉木 淳一〕

日中戦争〈2〉1937-45…………… 38

今月のミニボックス～みどころ紹介～⑥

第38回昆虫切手展…………… 39

風景印ピックアップ⑥

台東谷中局 風景印 図案改正ウラ話…………… 40

丸ごと! 世界新切手ニュース(74ヵ国795種を掲載)

編集部おススメ! 話題の新切手から 157…………… 49

ワールドスタンプナウ 239〔梶山 哲太郎〕

デンマーク切手のゆくえ…………… 50

『ビジュアル版』(図版ページ)…………… 52

『テキスト版』(解説ページ)…………… 65

情報・コミュニケーション

6月のイベント・スケジュール…………… 18

日本新切手ニュース:「夏のグリーティング」「ライフ・花」ほか…………… 20

郵趣の目・国内情報: 2025年夏用はがき/普通切手カルトール製2円登場ほか 25

郵趣の目・海外情報: 英国が記念切手を第2種用・第1種用に限定 ほか 27

切手の博物館ニュース:「民族の装い」展/「切手の博物館研究紀要」案内 ほか 29

BOOKS:「満州の鉄郵印」「震災切手1923-1924」…………… 41

読者のページ おたより喫茶室…………… 42

協会事業のページ

「全国郵趣大会2025 in 長崎」開催案内…………… 75

ゆうびん de 自由研究・作品コンテスト2025 出品募集…………… 76

STAMP-SHOW2025選考結果/文具&手紙マルシェ会場レポート…………… 77

研究会一覧/研究会・支部定例会…………… 78

開催録/次号予告 ほか…………… 79

公益財団法人日本郵趣協会のご案内…………… 80

巻頭言

切手の価値について

切手の価値について考えてみたことがあるでしょうか? 切手商などで切手に付けられた販売価格は、カタログ値を基準に、切手のコンディションなどを勘案して決められます。カタログ値は、切手の希少度や人気などによって決められます。

このような客観的な価値基準がありながら、多くの切手収集家は、別の価値基準で切手を入手していると思います。一般に、切手収集家はそれぞれのストーリーを持ち、それに沿って収集します。ストーリーといえばテーマチック収集がわかりやすいですが、例えば、伝統収集であっても、初期使用にこだわる、目打を全種類集める、色調分類に力を入れるなどの組み合わせで独自のものができます。そのストーリーが、収集家にとって切手入手の価値基準となります。

わたしにとって郵趣の楽しみのひとつは、展覧会作品を作ることにあります。展覧会作品は、自分のストーリーを、人に魅力的に伝える手段だと思います。そう考えると、入手する切手にはストーリーに合致しているに加えて、魅力的であることが求められます。リーフ作りを通して価値基準は明確化し、それによって収集は深化し、価値基準はさらに磨きがかかります。

郵趣の楽しみの源泉であるストーリー(価値基準)を作る能力は、多様なコレクション、特に収集範囲外のコレクションを見ることで鍛えられます。または、『郵趣』などの雑誌、専門書などでも収集範囲外の知識を学ぶことができます。学ぶことで、郵趣は更に楽しくなります。

JPS理事長 山田 廉一



表紙の切手より

英国王立武器博物館の起源は中世に遡り、その中核をなすのは、何世紀にもわたってロンドン塔に集められたコレクションです。世界中から集められた75,000点以上の品々が、ロンドン、リーズ、ポーツマス の3ヵ所に展示されており、小型シート(55・67㌫)には、江戸時代の兜、明朝時代の剣と鞘、フリントロック式銃などが描かれています。